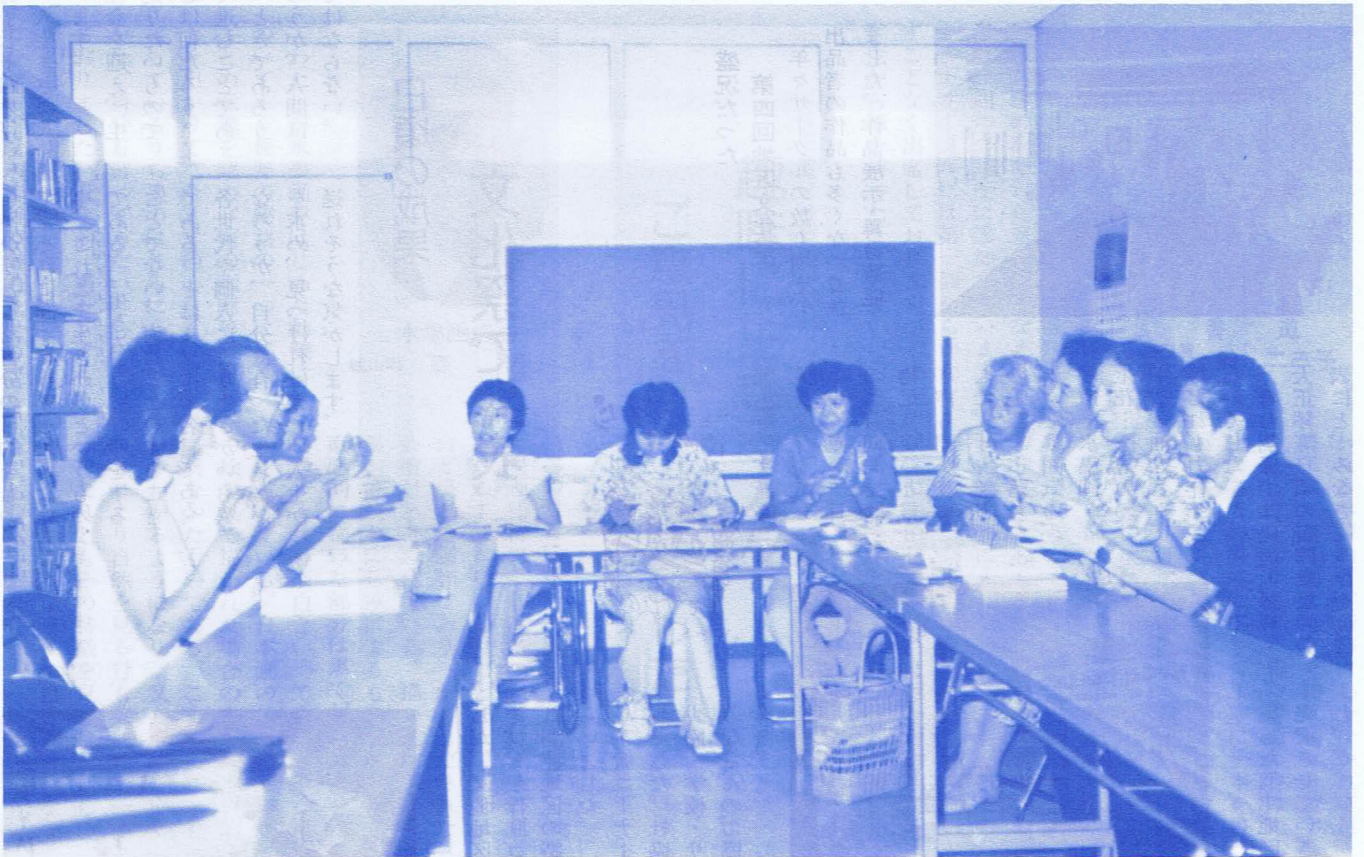


はづ

No. 10

羽津地区市民センター
羽津地区社会福祉協議会

昭和59年8月25日



新しく1年生も仲間入り

カタコトの手話でも何とか通じるものですネ!!

——“外国語じゃないんだよ、キミーッ”とは影の声——

明るい笑声が廊下まで洩れてくる。毎週水曜日、市民センター3階図書室で開かれている手話サークル“翔（はばたき）”の練習風景である。このサークルが生まれたのは今から丁度3年前。その年は「国際障害者年」であり、少しでも障害者福祉への理解を深めるために、羽津地区社会福祉協議会と市民センターとの共催で開かれた「手話教室」が、サークルとなって発展してきた。

会員は20代～70代の男女約20名で、サークル創設以来のベテラン（ホントかな？）もいれば、始めてやっと2～3ヶ月の新人まで多彩な顔ぶれ。民生委員・障害者・ボランティア（とその卵）の集まりであるので、手話の練習と共に、それぞれの立場から自由に話し合っている。福祉交流会や陶芸教室の相談もこの席上で行なわれた。

「このサークルに参加の障害者の方が、生き生きと談笑されるようになって嬉しく思っています」とは奥村会長さんの弁。



陶芸教育を楽しむ障害者たち
自慢の花瓶、灰皿、茶碗もできました。

あなたも一役 明るい羽津の町づくり



水墨画教室光景

サークル活動

お友達ができて



水墨画の心
城山町 森 恒一

わたしが水墨画をはじめた動機について……長寿の秘訣の一つに描くことの意義を認め、街の画廊等にもよく出かけて、たえず絵心をもち接しているうち墨のじみに心をひかれ、自分も習ってみたいと心掛けておりました。五年前、当センターで水墨画の講座が開かれたので進んで参加し、以来講師の梅山先生のご

指導のもとにこの道に精進してきました。墨画独特のじみにについては洋画に見られぬすばらしい分野だと思ふ。墨画は白と黒との調和であり、かもしだされた芸術だと言われている。描かれた部分は墨の濃淡とじみによるものですから、直感的に描いた部分は黒で、描かぬ部分は白で、それも余白といって実に大事な役割をもっている。日本画の絵の具や洋画の絵の具で描かれた場合の白とは本質的に異なるものである。こうしたことも多少わかるようになり、又ある物を描くことにより自然を見る目も養われ、一本一花たりともその特徴を見出し、新しい発見をしたような喜びで自分自身うなづくこともありま

くこともありま



奥様が美術についてご造詣が深く、ご自身も絵画を嗜んでおられるそうで、「オウ、ワングフル」の連発でした。特に篆刻の歴史・展示作品の印文の説明に非常な関心を示され、実演コーナーでは、「ぜひ彫らせて欲しい」との申し

井村左兵衛



書道 道 三子
白須目 三子

当市民センターにいろいろな講座が開講されて満五年になります。忙しい勤務のかたわら老後にそなえて私は今四つの講座に参加しています。書道サークルには第一回からかかすことなく出席しておりますが、小学生から筆を持ったこともないと言

われる年輩の方、皆書に心をひかれて毎月二回、四時間ばかりを和氣満々と習字を楽しんでおります。若い講師の谷口先生は各人の好みに応じて丁寧に手本を書いてくださいます。色紙、額、軸などの作品も手がけています。文化会館、県内外での書道展にも出品することができま

5月25日、27日の三日間、四日市市文化会館第四展示室で「篆刻作品展」が開かれました。これは松井鹿山先生のご指導により、「篆刻サークル」のメンバーと誠美会（鹿山先生の指導）会員の皆さんが出品されたものです。いずれも力作ばかりでしたが、特に水墨画をあしらった篆刻作品（大宮町・青山花代さん）は気品の漂う清礎な趣きがあり好評でした。

現在、篆刻サークルは20代から70代までの文字通り老若男女10名が和氣あいあいの中に楽しみながら石に字を刻んでいます。篆刻は奥が深く、やればやる程、興をそそるものがあります。しかし、この道に入るとは易しく、半年から一年で自分の落款印も立派に彫れるし、また、生来の悪筆であっても、応接間に飾っても恥づかしくない作品を作れるようになります。

趣味に生きる人々

ご意見をいただきました

日頃の成果 文化祭で発表

毎日の生活が楽しくなりました

平均寿命が今や、男子七十四才、女子七十九才となり、人生まさに八十年になろうとしています。ますますの高齢化社会を迎え、生きがいのある人生を送りたいものです。では、生きがいは何だろうか？それは目標に向かって進むことであらう。どんなに苦しいときであらうが、楽しいときであらうが、人間は決して自分を見失ってはならない。

しっかりと自分の目的をもって、それに向って歩みを止めない事。これこそ生きがいというものである。「生きる」とは、呼吸をすることではない。何ごとかをする事である」とはルソーの名言である。各世代や個人により生きがいも異なるが、自分に合った生きがいを求め、見つければ楽しい人生が送れそうな気がします。



第四回地区文化祭
年々サークルの数も増え、出品者の作品も多くなってきました。作品展示・舞台芸能・

伝承あそび等盛大な文化祭でしたが、僅か一日の鑑賞期間では物足りないと言った。手づくりの手芸……落ちついた雰囲気、書道・水墨画・生花……迫力の彫塑・油絵……等どれも力作ぞろいでした。

舞台関係では民謡・詩吟・大正琴等日頃の研修成果の発表にと、みなさん一生懸命で



した。又他地区にない伝承あそび、手作りコーナーの特設は羽津地区の特色を出してもらいました。



サークルの紹介

現在、当地区市民センターで実施されているサークルは、39あります。先般のアンケートの結果も混じえ、少しサークルの横顔を。

はかられ長続きしている。

●母親教室………：出生以前の胎教の大切さを知り、生後の子育てに、又現在の子育てにと実際に役立つ。

●民謡………：少々気分が悪くても練習にすれば、すっきりし家庭円満もはかれる。

●詩吟………：内臓のマッサージになり健康によく、自然と古今の史実を知り精神修養にもなり、又結納・結婚式に祝吟をして喜ばれている。

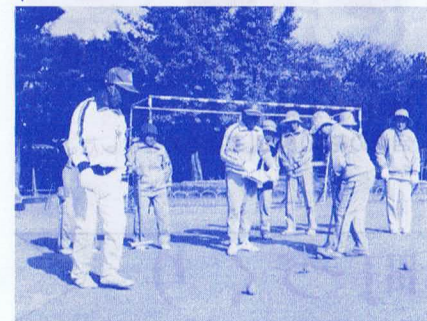
●それぞれにみなさん、楽しんでサークル活動に張切って見えます。又たくさんの方が楽しんでみえるゲートボールも、サークルの一つと言えましょう。

●書道………：最近の新規会員に若年層が多く、老若のコミュニケーションがはかられている。

●年齢を問わず、誰でも気軽に参加してみませんか。

●三味線………：習得した曲を他の教室の方との集まりで演奏し、同好者との親交を深めている。

●油絵………：素晴らしい傑作を作るより、絵を楽しむのがモットーであり、和氣あいあいの雰囲気、意志の疎通が



篆刻サークル「作品展」

「オウ・ワンダフル」 ロングビーチから青い目のお客様

出：早速自分の姓名の頭文字L・B・石に刻まれた。捺印したところ、残念ながらJ・Bの裏文字となり、大爆笑。でも、アメリカへの良いおみやげがきたと大喜びで、印材もろとも持ち帰られました。

現在、篆刻サークルは20代から70代までの文字通り老若男女10名が和氣あいあいの中に楽しみながら石に字を刻んでいます。

ボランティアに生きる人々

身体障害者の手助けや、集団遊びを通じての保育園児との交流、老人会の奉仕活動等当該地区での



子等とたわむれる
集団遊び

羽津町 大森みつる

私は四年前、民俗同好会の会員として、羽津地区に昔から伝わっている子どもの遊び（第一集）及び羽津地区の昔の人生儀礼と年中行事（第二集）の冊子の編集にたずさわって来ました。そのことから四年前より羽津保育園で、同好会の有志数名の方と毎月第三日曜日に、伝承遊び（集団遊び）について、実技を通して園児たちと語りあってきました。集団遊びのおばあさんといっって園児より親しまれ、若い母親とのつながりも出て、最後の生甲斐といったものを感しています。



こころくばり
大宮町 山本 幸

去る七月一日は、羽津地区の環境清掃日として共同墓地をはじめ、居住地周辺の側溝、空地の除草、消毒液の散布等、自治会を中心に皆さんが参加され、大変きれいにしていただきました。ジュースの空缶やプラスチック容器その他いろいろなものが、ところまわらずすてられその回収に苦労しました。家庭周辺の側溝掃除では、ご飯粒、野菜くず洗剤のあわ等いかにあちこち溜っているか。畑や庭の雑草



汗を流すお年寄りの
神社清掃

春風会の皆さんが少しでも世の中のためにと神社掃除に

頑張っておられます。志氏神社の夏祭、秋祭の十日程前、年二回実施されています。これは春風会の結成（昭和三十三年）以前からずっと続けられています。大正年間、一故人の奇行（お年寄りが少しでも世の中のためになりたい）として無心の勤勞奉仕を続けられた姿に感動され、その後神社の境内に春風苑が建設され、老人会がこの神社掃除が現在まで受けつがれている。

羽津地区でボランティア活動に従事されている方は、たくさんおられますが、四日市市社会福祉協議会に登録されている方々のお名前を紹介させていただきます。

- 山口能武子 別名三丁目
- 田中 寿子 八田二丁目
- 松本 静美 大宮西町
- 吉原 すえ 羽津山町
- 神谷 茂子 大宮町
- 酒井 君子 大宮町
- 武居 裕子 別名三丁目
- 黒川登志江 大宮西町
- 田中ますみ 八田一丁目
- 木下 公子 山手町
- 西田 孝 別名三丁目
- 伊藤 信美 いかるが町
- 坂口 教子 緑丘町

ボランティアは私たちの生きがい

同情でなく友達になることです

羽津地区社会福祉協議会主催の第二回福祉交流会（七月八日、於市民センター）は約四〇名の身体の不自由な方（地区外在住の聴覚障害者を含む）が集まり、映画・手話コーラス・福引・懇談会などで楽しく過ごし、盛況の中に閉会しました。

この交流会が年々充実してきたのは、民生委員や地区内外のボランティアの人々の努力による所が多い。そこで、いろいろお世話頂いた方々に交流会の反省を含めて「ボランティア活動」について話し合いました。



第2回福祉交流会
羽津地区市民センター前にて

「時間ができた」「身内に障害者」「自分も障害者」「宗門家の力を借りて解決。」

垂坂公園の基本構想まとまる



「垂坂山の公園化」は羽津地区住民が、永年にわたり要望を続けている問題です。過去2回にわたり「緑の町づくり」住みよい町づくりを話題にして、皆さん方のご意見・ご感想を紹介してきました。

なくなるのでは……。岩田課長 現在の樹木・植物の実態は調べました。できる限り現状を維持・保存します。南北朝時代の合戦場も史跡広場となる予定です。

野鳥や昆虫も生息する 自然を生かした垂坂公園

垂坂公園の計画ができて上がったのですが……。岩田課長 これが垂坂公園の基本構想図（図面参照）で、面積は約四〇ヘクタールです。垂坂山は伊勢湾や四日市の街並みが眺められる景勝地で、古くから学童の遠足地として親しまれてきた土地です。できる限り自然を生かし、野鳥や昆虫の生息できる環境を破壊せずに、市民が気軽に散策を楽しめる公園とするのが基本構想です。

野球・テニスを楽しむ若人 幼児のためには遊戯広場

岩田課長 既に自然が破壊された地域を利用して、野球場、テニスコート、遊戯場、駐車場の施設も計画し、お年寄りから幼児まで、みんなが喜んで利用できるように考えました。



市街地に隣接した大自然の緑地。開発の波の押し寄せて来た個所から部分的にでも公園化に着手する覚悟です。

春は梅林に、うぐいす 夏はキャンプ、 秋は栗拾い

岩田課長 四季の変化を通じて散策を楽しめるように、花木、常緑、落葉樹を配ってみました。特に実のなる木を植え、家族づれでの栗拾い



八田二丁目の田中勝利さんと
荒木信生さんのご一家

ステキなまとなりさん♡

私の心強いお隣りさんは、少し太目のかわいいう三児のママ、田中寿子さんです。彼女は最近念願叶って、昔とった杵柄で白衣の天使？に帰ります。張り切っています。先日も農作業の時に自慢の左指を、誤って鎌で切ってしまい、私は飛んで帰り、寿子さんの家へ行きましました。さすが彼女すばやく応急処置をしてくれました。この調子で家族全員でお世話になっていきます。二十年ちかくのお付

(八田二丁目 荒木秋枝)

わたしの健康法



羽津町 相馬 満寿恵(63歳)

民謡はストレス解消

胃腸スツキリ

夏になると必ずと云っている程、胃腸病で寝込んでいた私です。娘にもいつも云われていたものです。「お母さん又寝込む時期がきたね」、病院に通ってもなかなか回復しません。そんな或る日、婦人会

の民謡教室に入れていただき、民謡を習い始めてからもう五年にもなりますが、民謡を始めてからは、胃腸病のことはすっかり忘れていきます。民謡はおなかから声を出すので私の持病の胃腸病にはよかったです。近ごろでは民謡の心なるものも少し解つてきたような気がし、無趣味だった私ですが、民謡に出席するようになってからは、より充実した毎日を過ごしています。

ストレス解消にもなり胃腸もスツキリして、食欲もモリモリです。和気あいあいの素晴らしい民謡教室、これからも健康な身体の維持のために、長く続けていきたいと思っています。

♪芳志ありがとう♪おじさまいました

10万円
大宮町 今村 素久

福祉活動の重要性が高まっている折、去る三月、地区の社会福祉の向上と発展に役立ててほしいと現金十万円をご寄付いただきました。心温まるご芳志に深く感謝申し上げますとともに有効に活用させていただきます。

さつき50鉢
羽津町 (故) 廣瀬 裕一

家の建替えのため、丹精こめてつくられたさつき五十鉢を、去る三月末に羽津保育園にご寄贈いただきました。故人のご遺志を尊重し、立派にそだてて花を咲かせていきたいと思っています。ご厚志に対し厚くお礼申し上げます。

チヨットひとこと
ほら、おじさんに叱られるわよ！
ほぼ満席の電車。小学生と幼稚園児と思われるわんぱく盛り男児を連れた若い母親が乗り込んで来た。譲られた座席に、母親の「すみません」の挨拶を尻目に、子供達はさも当然の様な顔つきで、靴を履いたまま、窓に向ってチヨコンと立膝で座る。間もなく我が家の延長ながら傍若無人の悪ふざけ。汚れた靴底が隣の人のズボンをチヨコン、チヨコンと蹴り立てる。「これッ。静かにしてないとおじさんに叱られるわよッ」。母親にたしなめられ、そっと見上げたおじさんの顔には微笑が浮んでいた。ほっとした顔つきで眼を見合せていた子供達の悪ふざけが、更にエスカレートして行ったのは当然だ。母親を含め周囲の大人達は、子供に対して余りにも寛容であり過ぎるのではなからうか。迷惑をかけないこと・すみません・ありがとうの3つは社会生活の基本であり、幼いときから厳しく躾ける必要がある。

「キャンプ」って何や

青少年育成協議会会長

村瀬重行

キャンプのシーズンです。羽津青少年協会のキャンプは一定型化したプログラムを持っていますが、校庭でのキャンプです。自然の森羅万象に調和した活動は望めません。しかし、校庭キャンプの意義は、一つの新しい生活の経験になると思います。家族からはなれ、生まれて

で簡素な一泊二日のキャンプ生活のなかで新しい知恵が生まれているようです。機会をみて家族キャンプはいかがですか、家族中が知恵を出し合っている個性豊かなプログラムを作り上げること。そのことを家族全体で工夫して是非試みられることを、おすすめします。



短歌

〈羽津野短歌会より〉

小林 英選

朝霧のうするところ日の射せりおもむろに諏訪湖はめぎめゆぐらし
五月晴れのゲートコートの始球式八十歳歳の異性と握手す
大宮町 小井 正二
長女より花束受くる父の日に遠き若き日思ひよろこぶ
大宮西町 井村左兵衛
細くなりし姑の背流す誕生日農に生きぬきし人と思はず
大宮町 伊藤 品子
『骨休む』と貼紙したる苺ぶきの食事処見ゆ奈良のまちかど
大宮町 加藤 光子

俳句

〈志氏ヶ野句会より〉

村田 青麥選

さはやかに風ささやきて花馬酔木
羽津町 大森みつゑ
ぬれ緑に雪後の日ざしシクラメン
城山町 片岡とき代
月光の花となりゆく鼓打つ
加藤よ志ゑ
花びらの葉にくづれつつ牡丹散る
城山町 川本 ふみ



河に舞ふ春の暮雪を見てるたり
八田町 久志本幹子
筆立を買ひ薔薇苗を買ひ戻る
白須賀二丁目 館 二三子

屋根の雪落つ音つづく湯に浸る
羽津町 藤井まきへ
草の戸に月の帰雁を仰ぎたる
羽津町 藤井まきへ

極彩の花の絵ばかり種袋
大宮町 武藤 弘子

風の野に残雪まぶしハケ岳
城山町 宮田 健三

翅たたみうつぎの花に霧の蝶
大宮町 山本 幸

羽津村の歌

羽津尋常高等小学校
第8代校長(S3~S9)
(故) 森 英太郎先生作詞

我々が住める羽津の村、その古ははせつかべ朝明の郡に属せしを、今は三重にと合しいる
明治二十年までは、羽津五ヶ村と唱えしが今は一つにすべ合せ、六の区とぞなりにけり
これより村のおもだちし、風景勝景社寺古跡その概略を二つ三つ、並べてここに数うれば
天平十二の霜月に、聖武天皇三重よりは桑名へ行幸御時に、この志氏ヶ野を御道輩

志氏の神社をふし拝み、丹比屋主和歌詠みて本郷より志氏住む氏人の、思う心を慰めん
阿下なる小高き丘陵は、赤堀衛門太夫とて上野よりぞ移り来て、七代住めりと言ひ傳う
その隣なる禪院は、延命山の正法寺
赤堀菩提の向華所と、今も位牌を安置せり
町の半の夫婦岩、苔むすまでも睦まじく朝な夕なに村人の、生活の範と呼ばれたり

羽津会館の建設始まる 年内に完成の予定



完成予想図



地鎮祭

七月二十二日(日)、みほと学園跡地において、羽津会館の地鎮祭がとり行われました。一三二一㎡の敷地に鉄筋コンクリート造り二階建、延二五九㎡の広さで、一階には大ホール、二階には会議室三つ・和室二つがあり年内に完成の予定です。これからは文化祭の作品展示とか、各サークルの作品展示も気軽に出来るようになるかも知れませんね。又センターが満員で使用できなくても会館があるのは心強いものです。地区の行事、教養・文化・娯楽、会合にと皆さんの会館として活用出来ます。一日も早く羽津会館が完成するといいですね。

料理教室 開かれる

六月から毎月第三火曜日に、〈昼の部〉栄養改善のための季節の家庭料理、〈夜の部〉身近かな家庭料理が十回にわたりに開かれます。夏には夏バテ予防、冬には風邪の予防の料理、健康・栄養の面に重点をおい

た経済的な家庭料理に、六十名の方がなごやかな雰囲気の中で取り組んでいます。又出来上がった料理をみんなでお話ししながら食べるのも楽しいものです。来期の料理教室の募集には、皆さん是非ご参加下さい。



高齢者教室と 幼児教育子育て講座

……互いに共通のところが

子どもの人間形成に必要な教育は幼児のとき基礎を固めておかなければなりません。教



育ててもらいました。社会、家庭の中における祖父、母、親、子どもの立場や役割を考え、互いに双方の講座を受講すれば、もっと意志の疎通がはかれ円滑にいくかもしれません。九月からの両講座にご参加下さい。

印鑑登録の切り替えをお忘れなく!!

すでにご承知のとおり印鑑登録証明制度が変わりました。窓口の混雑を防ぐためできるだけ下の表の町別指定日にお越し下さい。

期間

●昭和59年7月1日～昭和60年6月30日

59年7月	霞ヶ浦町南部 北部・白須賀町 富士町・金場町	60年1月	大宮町第三 大宮西町
8月	城山町・鶴町	2月	羽津山町
9月	八田第一 八田第二 八田第三	3月	別名一丁目 別名二丁目
10月	羽津町第一 羽津町第二 山手町	4月	別名三丁目
11月	羽津町第三 羽津中町	5月	別名四丁目 別名五丁目 緑丘町
12月	大宮町第一 大宮町第二	6月	

お持ちいただくもの

★ご本人の場合

- 登録してある印鑑
- 印鑑登録手帳

★代理人の場合

- 登録してある印鑑
- 印鑑登録手帳
- 委任状等
(代理権授与通知書)
- 代理人の印鑑

印鑑登録証明についてのお問い合わせは
羽津地区市民センターへ
(TEL 31-4465)

※上記の日程表のとおりお越しただけの方は、切り替え期間中、御都合の良いときにお越し下さい。

あとかき

高齢化社会を迎えて、「生涯教育」
「生きがい」が話題となっています。
そこで今回は羽津地区文化活動に
焦点をあて、趣味に、学習に、ま
たボランティアに取り組んでおら
れる姿を特集しました。

編集メンバー

- ◇武藤 秀雄 ◇天野 平一
- ◇小平 容子 ◇酒井マチ子
- ◇岡屋 孝子 ◇味香 秀子
- ◇小川 良二 ◇井上キヨ子
- ◇高倉 芳子 ◇後藤 佳子
- ◇羽津地区市民センター

羽津の人口

(昭和59年7月末現在)

男	6,528人	-52
女	6,560人	-54
合計	13,088人	-106

前回は

世帯数	3,953世帯	+13
-----	---------	-----